

しなやか先端技術企業

環境にやさしいテクノロジーで未来を創造

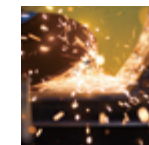
 **ワイエイシ株式会社**

東証1部 証券コード:6298

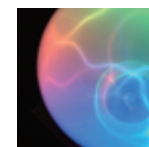
事業フィールド



ハードディスク



精密熱処理



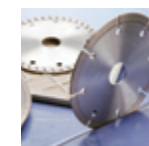
液晶



工業用計器・制御通信



半導体



精密切断



太陽電池



レーザープロセス



フィールドエミッションランプ



クリーニング

第43期 中間 ビジネスレポート

平成26年4月1日～平成26年9月30日

トップメッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

第43期第2四半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況等をご報告するにあたりご挨拶申し上げます。

当第2四半期の業績は、一部案件において原価高騰による採算悪化等の要因により赤字拡大の結果となりましたが、通期の業績は下半期に売上が集中しており、当初の計画通り推移するものと見込んでおります。

また、第2四半期の配当金は財務状況等を総合的に勘案し、1株につき10円とさせていただきます。

ワイエイシイは、「より多く社会に貢献する=より多く納税する」を企業の目的・使命として、「規模の拡大」・「高収益体質の確立」を掲げ、経営者と社員が一丸となって挑戦し続けています。

今期はM&Aにより、ハイテク部品の精密加工の装

置メーカーとレーザー技術を用いたパワー半導体の製造装置メーカーの2つの会社がワイエイシイグループに加わり、新たな事業領域に進出しております。さらに、半導体事業においては営業譲渡により半導体製造装置のラインアップを拡充いたしました。

当社では、今後も経営戦略のひとつであるM&Aに積極的に取り組み、規模の拡大を進めてまいります。

また、「売上は最大に、コストは最小に」を合言葉に全員参加型の経営に取り組んでいます。社員一人ひとりが経営者として仕事に取り組むこと、この意識こそが高収益体質の確立そのものと信じてやみません。

当社は株主の皆さまの信頼と期待に応えるべく、価値の創造を追求し、透明度の高い経営を進めてまいります。引き続き、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役社長

百瀬 武文

さあ今日も、
ときめきと感動の日々であれ！

創業理念

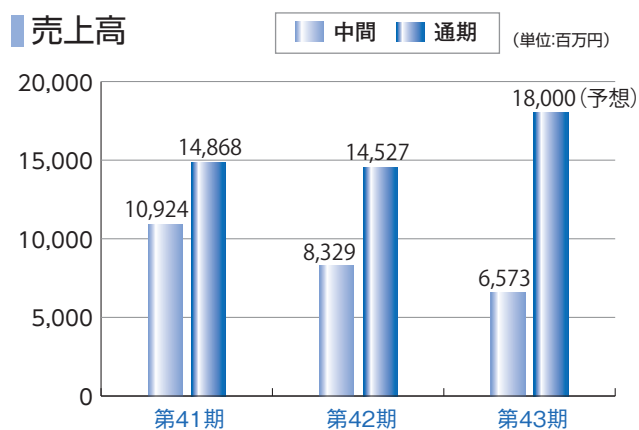
1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

成長理念

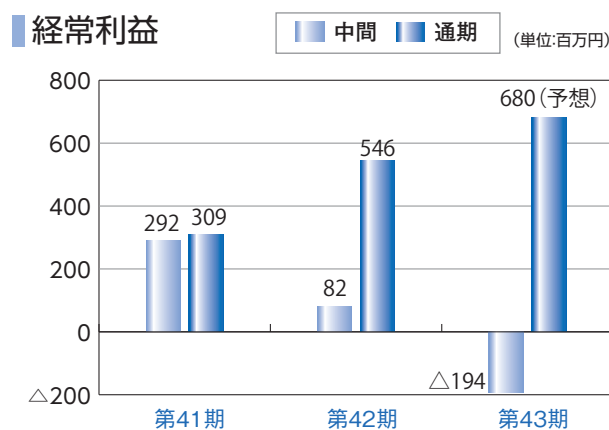
1. 社員の豊かさを追求する（経済的、精神的）
2. 国・地方自治体により多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

	第41期	第42期	第43期中間	第43期通期(予想)
売上高	14,868百万円	14,527百万円	6,573百万円	18,000百万円
経常利益	309百万円	546百万円	△194百万円	680百万円
当期純利益	191百万円	2,229百万円	△169百万円	430百万円
1株当たり純資産額	1,220.96円	1,459.87円	1,435.47円	—
自己資本比率	50.9%	57.6%	52.7%	—
配当金	20円	20円	10円	10円

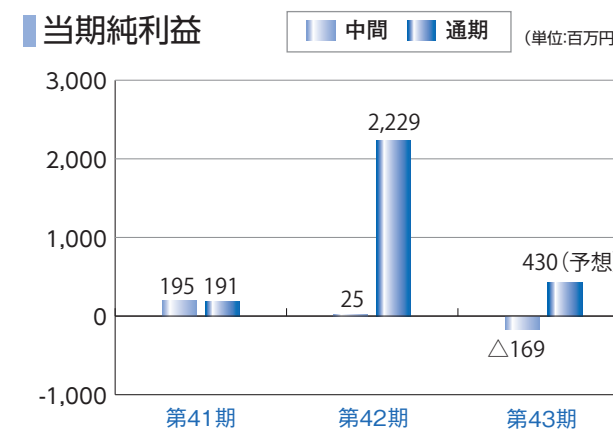
売上高



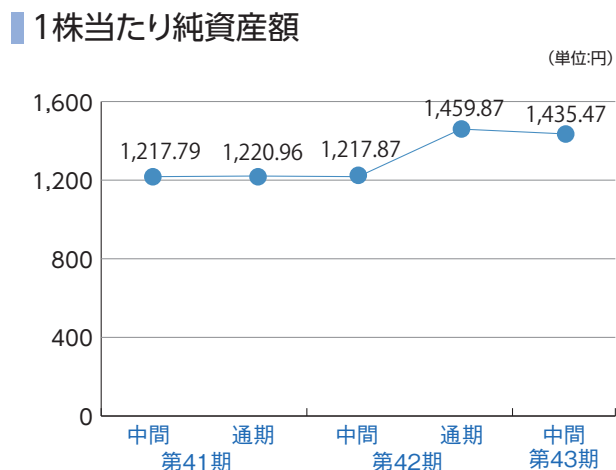
経常利益



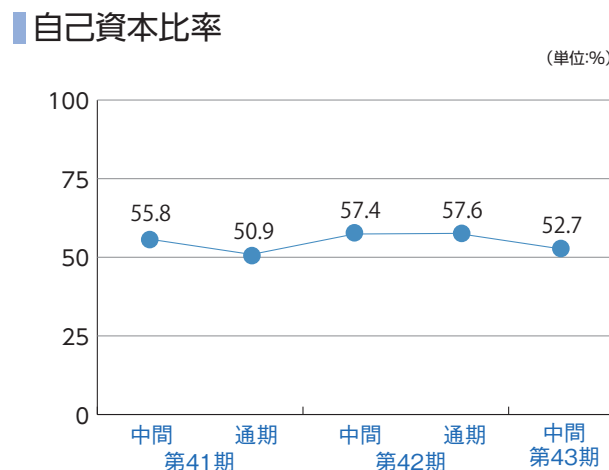
当期純利益



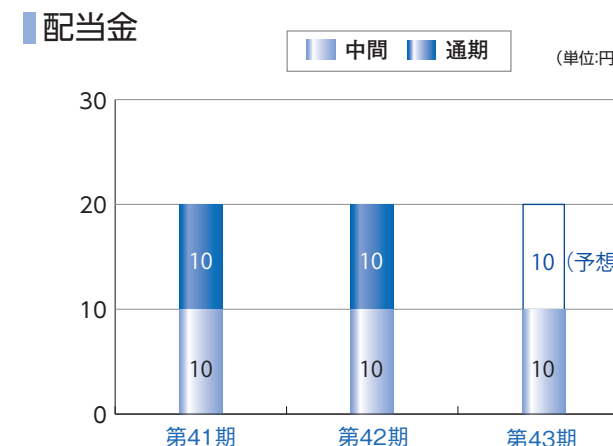
1株当たり純資産額



自己資本比率



配当金



事業概況

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)における世界経済は、米国では企業業績の回復、個人消費の増加、雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いており、一方、欧州ではデフレ懸念に加え、金融不安や政情不安により景気回復が足踏みしております。そして、中国や新興国では成長鈍化が鮮明となり、全般的に先行き不透明な状況にあります。

日本経済においては、企業収益の回復や失業率の改善等の経済指標においても回復の兆しが見られますが、消費税増税前の駆け込み需要の反動や円安の影響の懸念もあり、予断を許さない状況にあります。

このような経済状況のもとで、当社グループは緩やかながらも成長し続ける中国及びアジア地域を中心に営業展開を図るとともに、収益の確保に向けて原価低減及び経費削減を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65億73百万円(前年同期比21.1%減)、営業損失2億79百万円(前年同期は営業利益40百万円)、経常損失1億94百万円(前年同期は経常利益82百万円)、四半期純損失1億69百万円(前年同期は四半期純利益25百万円)となりました。

経営の現状と見通し

通期の見通しは、積極的な景気浮揚策の効果によって企業業績は回復基調を強めるものと期待しておりますが、消費税率引き上げによる国内個人消費の下振れ懸念、欧州諸国の景気停滞の長期化、新興国の成長の減速等、国内外の不安定要因を抱え、引き続き不透明な状況が続くものと思われま。

このような事業環境のもと、当社グループは、『高収益企業文化の構築と規模拡大』の実現を目指してまいります。スマートフォンや

4KTV対応の高密度プラズマエッチング装置やアニール装置、液晶タッチパネル用の洗浄装置、そしてクラウドコンピューティングによって求められる大容量HDD対応のバーニッシュ装置等、製品群の広域化を進めてまいります。今後予想されるスマートシティ社会を担う装置として、電力の制御通信システムやクリーンエネルギー関連の太陽電池製造装置の拡販、平面発光ランプの早期製品化を図ってまいります。

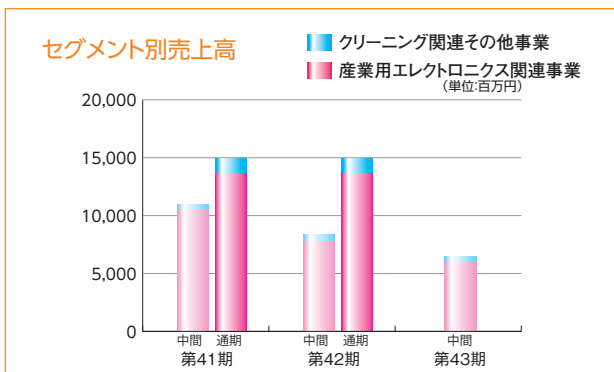
当社グループは、アジア市場へ積極的に展開し、顧客のニーズをとらえた高付加価値な装置の開発や販売に努め、受注の獲得・収益の増大を推進します。

通期の業績見通しにつきましては、売上高180億円(前期比23.9%増)、営業利益7億円(同63.7%増)、経常利益6億80百万円(同24.4%増)、当期純利益4億30百万円(同80.7%減)を予想しております。

セグメント別の状況

産業用エレクトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置分野では、OSソフトの更新に伴うパソコン買換えや新型ゲーム機の展開によりHDD需要が伸長しましたが、顧客の新たな設備投資に繋がらず、業績は低



調に推移しました。

半導体関連装置分野では、自動車やモバイル端末の需要が旺盛ですが、後工程の設備投資は停滞しており、総じて低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、モバイル端末向けを中心とした中・小型パネルの旺盛な需要に加え、中国における大型パネルの需要が継続しており、プラズマエッチング装置やアニール装置関連の業績は順調に推移しました。

加熱処理装置分野では、モバイル端末や大型TV等の液晶用加熱装置の売上が秋口以降になるため、業績は停滞しました。

太陽電池関連装置分野では、国内外の高効率パネル需要に対応する海外の設備投資は旺盛ですが、米国の反ダンピング関税の動きや設備投資が一部先送りとなり、厳しい状況で推移しました。

工業計器及び制御通信システム分野では、エネルギー事業の規制緩和の進展による新規参入・再構築等の設備投資需要に支えられ、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は60億23百万円(前年同期比22.0%減)、セグメント損失は48百万円(前年同期はセグメント利益2億58百万円)となりました。

クリーニング関連その他事業

クリーニング関連装置分野では、国内のクリーニング需要の減少傾向が続く厳しい状況のなか、国内はもとより、中国、欧米において営業展開の強化を図るとともにさらなる原価低減に努め、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5億49百万円(前年同期比9.4%減)、セグメント利益は51百万円(同13.3%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前連結会計年度末 平成26年3月31日現在
【資産の部】		
1 流動資産	18,461	16,792
固定資産	5,814	5,795
有形固定資産	4,237	4,227
無形固定資産	197	125
投資その他の資産	1,379	1,443
資産合計	24,276	22,587
【負債の部】		
2 流動負債	7,157	5,122
固定負債	4,148	4,273
負債合計	11,305	9,396
【純資産の部】		
株主資本	12,811	13,070
その他の包括利益累計額	△8	△49
新株予約権	16	9
少数株主持分	150	160
3 純資産合計	12,970	13,191
負債純資産合計	24,276	22,587

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高	6,573	8,329
売上原価	5,329	7,122
販売費及び一般管理費	1,523	1,166
営業利益又は営業損失(△)	△279	40
営業外収益	105	62
営業外費用	20	20
経常利益又は経常損失(△)	△194	82
特別利益	2	0
特別損失	0	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△192	81
法人税等	△12	49
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△179	31
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△169	25

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	前第2四半期累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44	△830
財務活動によるキャッシュ・フロー	280	△780
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	95
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,028	△2,371
現金及び現金同等物の期首残高	7,806	8,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,777	6,390

POINT 1 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、184億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億69百万円増加しました。主な増加は、仕掛品11億78百万円、受取手形及び売掛金11億45百万円で、主な減少は、現金及び預金9億7百万円です。

POINT 2 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、71億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億34百万円増加しました。主な増加は、支払手形及び買掛金10億56百万円、短期借入金6億80百万円、前受金3億10百万円で、主な減少は、未払法人税等1億22百万円です。

POINT 3 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、129億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億20百万円減少しました。主な減少は、利益剰余金2億58百万円です。その結果、自己資本比率は52.7% (前連結会計年度末は57.6%) となりました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間において、液晶関連装置分野の中国向け大型案件による売掛債権の大幅増加、下期に向けた「加熱処理装置分野」「工業計器及び制御通信システム分野」における受注・売上に向けた作りこみ増加を反映し、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナス13億17百万円となりました。

トピックス 1

TOPICS

新たに2社がグループ会社として加わり事業領域を拡大

株式会社ワイエイシイダステック (旧株式会社ダステック) は2002年 (平成14年) に設立以来、精密素材の切断装置メーカーとしてお客様のニーズを実現する数多くの装置を提供しております。

主要製品



切断装置 (DAS110)

スマートフォンやハイブリッドカーなどの心臓部を支えるハイテク部品を構成する磁性材料、IC用セラミックパッケージ、光学用ガラス (レンズ、プリズム)、水晶、サファイヤなどの超精密難削素材を薄型外周刃で高精度に切断する、「これからの切断機」です。



バイオセルスライシングシステム

当社の特許「ワークの冷凍切削加工方法とワークの冷凍切削加工装置 (特許4809086)」を用いて、極めて薄く多彩な形状の細胞サンプルを生体から生きた状態で切り出す凍結切断装置の開発に成功いたしました。再生医療、創薬開発、臨床医療に寄与すべく基礎開発を進めており、将来の大きな需要が見込まれています。

ワイエイシイフェトン株式会社 (旧フェトン株式会社) は2002年 (平成14年) に半導体プロセス技術とレーザー技術を融合したレーザープロセス装置メーカーとして設立以来、パワー半導体市場をメインに装置の開発、製造、販売をおこなっています。

パワー半導体は電気利用を最適に制御して損失を減らす省エネの鍵を握る重要なデバイスです。ハイブリッドカーの高い燃費や、太陽電池などの再生可能エネルギーによる発電を電力送電網に接続したスマートグリッドを実現するのもパワー半導体による高精度制御の賜物です。当社はこのパワー半導体製造特有のキーププロセスをレーザー技術により実現し量産装置として供給しております。

主要製品

パワー半導体用レーザーアニール



SiC裏面電極金属層オーミック化専用装置



トピックス 2

TOPICS

半導体製造装置に新たなラインアップ

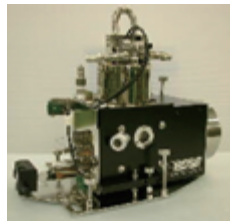
1994年 (平成6年) に石英ガラス関連の半導体製造装置の製作を目的に設立されたオメガセミコン電子株式会社の製品が、半導体製造装置のラインアップに加わりました。

主要製品



1. IPAベーパー (イソプロピルアルコール蒸気) 乾燥装置

半導体 (LSI、MEMS、パワーデバイス) 製造の洗浄工程における仕上げ乾燥工程においてIPA (イソプロピルアルコール) 蒸気を利用したパーティクル (異物) 付着をゼロとした乾燥装置。半導体メーカーおよび洗浄装置メーカーの多くに採用いただき歩留向上に貢献しています。



2. 外部燃焼酸化装置 (浄水蒸気発生装置)

高純度石英ガラス製の燃焼管内で水素を燃焼させて清浄な水蒸気を発生し、半導体製造におけるウェット酸化と呼ばれる酸化膜形成工程において重要な酸化剤として活用されています。

ワイエイシイグループ

ワイエイシイ

メモリーディスク事業部

プラズマシステム事業部

半導体事業部

太陽電池事業部

フィールドエミッションランプ事業部

クリーニング事業部

関連会社 (国内)

(株)ワイエイシイデンコー (東京都青梅市)

大倉電気 (株) (埼玉県坂戸市)

ワイエイシイ新潟精機 (株) (新潟県妙高市)

(株)ワイエイシイダステック (埼玉県戸田市)

ワイエイシイフェトン (株) (神奈川県厚木市)

YAC国際電熱 (株) (東京都昭島市)

(株)NDマテリアル (高知県高知市)

関連会社 (海外)

HYAC Corporation (米国カリフォルニア州)

YAC Systems Singapore Pte Ltd (シンガポール)

YAC Korea Co., Ltd (韓国城南市)

瓦愛新 (上海) 国際貿易有限公司 (中国上海市)

日商 微艾新 (股) 台湾分公司 (台湾新竹市)

会社概要

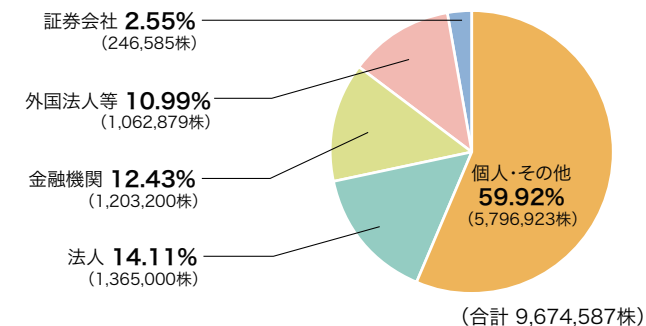
商号 ワイエシイ株式会社
 英文表示 Y.A.C.CO.,LTD.
 本社 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号
 設立 昭和48年5月11日
 資本金 2,756百万円
 従業員数 189名 (連結454名)
 (出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

株式の状況

会社が発行する株式の総数		34,388,000株
発行済株式の総数		9,674,587株
当期末現在の株主数		4,616名
個人・その他※	4,465名	5,796,923株
法人	41名	1,365,000株
金融機関	23名	1,203,200株
証券会社	39名	246,585株
外国法人等	48名	1,062,879株

※自己株式を含みます。

所有株式数分布状況



役員・執行役員

代表取締役社長 百瀬 武文
 常務取締役 佐藤 康男
 常務取締役執行役員 伊藤 利彦
 常務取締役 宮本 忠泰
 取締役執行役員 和田 貢
 取締役執行役員 大福 芳弘
 取締役執行役員 副島 幸雄
 常勤監査役 東田 明
 監査役 勝間田 武司※
 監査役 石田 祥二※
 執行役員 西原 宗久
 執行役員 曾根田 栄悦
 執行役員 寺本 和政
 執行役員 野口 武史
 執行役員 村野 恒利

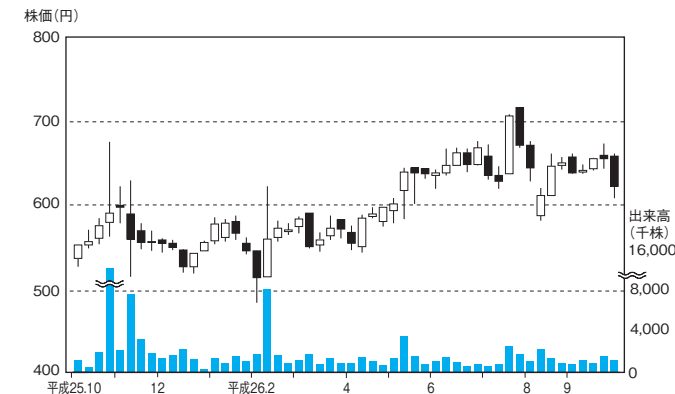
※社外監査役

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社モモタケ	1,220	12.61
ビービーエチ フォー フィテリテイ ロー プライズ ストック ファンド (フロンシブル オール セクター サポートフォリオ)	447	4.62
百瀬 武文	280	2.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	259	2.68
エスアイエックス エスアイエス エルティーディー	184	1.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	166	1.71
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	138	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	89	0.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	88	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	87	0.90

※当社は、自己株式を755,397株保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価・株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
期末配当金受領株主確定日	3月31日		
中間配当金受領株主確定日	9月30日		
定時株主総会	毎年6月	上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公 告 の 方 法	電子公告により行います
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	http://www.yac.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

株主・個人投資家の方々に対しての
当社の状況をわかりやすく伝えたコンテンツを
提供しております。

<http://www.yac.co.jp/>

または、**ワイエイシイ** **検索** で検索ください。



 **ワイエイシイ株式会社**

〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL:(042)546-1161(代表) FAX:(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>